

## [ 競 技 注 意 事 項 ]

2026年(令和8)年6月7日

※本大会は非公認大会です

1. 本大会は、2026年度の日本陸上競技規則および本大会の**申し合わせ事項**にて実施する。
2. 出場種目の変更、代理の出場は認めない。
3. 招集場所は100m出発地点付近とする。(トラック・フィールドとも)
4. プログラム受け取り後、<氏名・種目など> を**確認すること**。  
記載ミスがあった場合は、各種目の招集打ち切り時間迄に届け出る。(本部迄)  
申し出がないときは、賞状・記録などは、**プログラムの記載どおりに印刷される**。
5. 招集開始・打ち切り時刻は予選、決勝とも競技開始時間を基準として下記のように行う。

	トラック	フィールド	適 用
招集開始	30分前	40分前	コールは予選・決勝とも本人のみで代理は認めない。
招集完了	20分前	30分前	招集場所で最終コールを受けてから、競技開始地点へ行く。

【注意】招集時間に他の種目に出場する場合は、事前に競技者係に申し出る。

6. 招集時間に遅れた者は棄権とみなし、その競技には参加できない。招集時間に注意の事。
7. トラック競技のレーン順及びフィールド競技の試技順は、プログラムの記載のとおりに行う。
8. 決勝の組み合わせは、掲示板に発表する。
9. **予選の種目で参加選手が7名以下**の時は、**予選の時間に決勝**を行う。
10. リレーのオーダー用紙は、招集完了時刻の1時間前までに、競技者係に提出すること。  
(オーダー用紙は、ナンバーカード交付時に渡します)
11. ナンバーカードは胸部、背部の両面に正しくつける。  
但し、走高跳は背、又は胸のみで可。
12. トラック競技に参加する競技者は、**黒ナンバーカード**を競技者係から受け取り、**右腰やや後方**につける。  
競技終了後は、フィニッシュライン付近の箱に返却する。
13. 全種目3位までの入賞者を表彰する。  
準備ができた種目から表彰をしますので、放送等に従って集まる。(本部前)
14. フィールド競技とトラック競技に同時に出場する選手は、トラック競技を優先する。  
この場合、競技者審判員に申し出てトラック競技に出場すること。申し出があった場合、フィールド審判員は定められた試技順を変更することができる。
15. 走幅跳は3回試技で順位を決定。
16. 砲丸投は3回試技で順位を決定。
17. 走高跳のバーは下記の高さより開始する。(競技者が最後の一人になるまでは3cmきざみ)  
中学男子：1m20cm / 中学女子：1m00cm  
一般男子：1m50cm / 一般女子：1m10cm  
但し、出場選手および天候の状況によっては選手と審判が協議し、審判長が判断する。
18. 砲丸投げの重さは次の通りとする。  
中学男子：5.000kg                      一般男子：7.260kg  
練習は、必ず審判員の指示に従い、落下地点に入らない。
19. 800mのスタートはオープンで行う。
20. スタートのコールは**イングリッシュ・コマンド**とする。  
『位置について→オン・ユア・マークス』『用意→セット』『やり直し→スタンド・アップ』
21. スターティングブロックは男女ともに中学生より使用できる。使用する場合はセッティングを速やかに行う。  
小学生のスタートはクラウチングスタートを原則とするが、スタンディングスタートも認める。
22. 「不正スタート(フライング)」1回で不正スタートした選手を失格とする。競技には参加するが参考記録とする。  
小学生においては同一人が2回不正スタートをした場合は失格とする。競技には参加するが参考記録とする。
23. 全ての用器具は主催者側で用意したものを使用する。
24. 競技会中の事故については、主催者が応急処置を行うが、その後は責任を負わない。
25. **表彰式付近には入賞者以外の方は立ち入らない**。
26. 雨天時など天候の悪い時は競技時間を早める場合があるので、アナウンスに注意すること。
27. その他、不明な点は大会総務まで問い合わせのこと。